

# サージカルマスクの効果的な再利用法

もとき内科クリニック 大江元樹

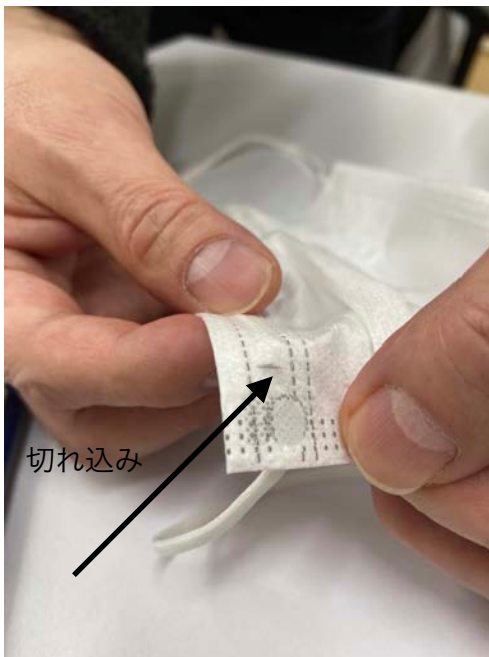
高温滅菌にてマスクの微細構造やフィルター効果に変化が出るため、新品のような防御効果は期待はできませんのであくまでも緊急避難的な使用であることをご理解ください。

## ①必要物品

- ・カッターナイフ
- ・滅菌パウチ



## ②マスクの金具（ノーズフィット）の取り出し



- ・使用したマスクの裏側の金具挿入部の端にカッターで縦に切れ込みを入れる
- ・金具をたぐり寄せてマスクから取り出す

③滅菌パウチにマスクを入れる



④滅菌パウチの端を折り密閉する



⑤滅菌パウチをカストに縦に並べて入れる



⑥カストをオートクレーブに入れる



### ⑦滅菌・乾燥開始

- ・当院のオートクレーブの設定は121℃で滅菌20分、乾燥30分の設定です



滅菌中のモニター画面

### ⑧滅菌終了・カストの取り出し

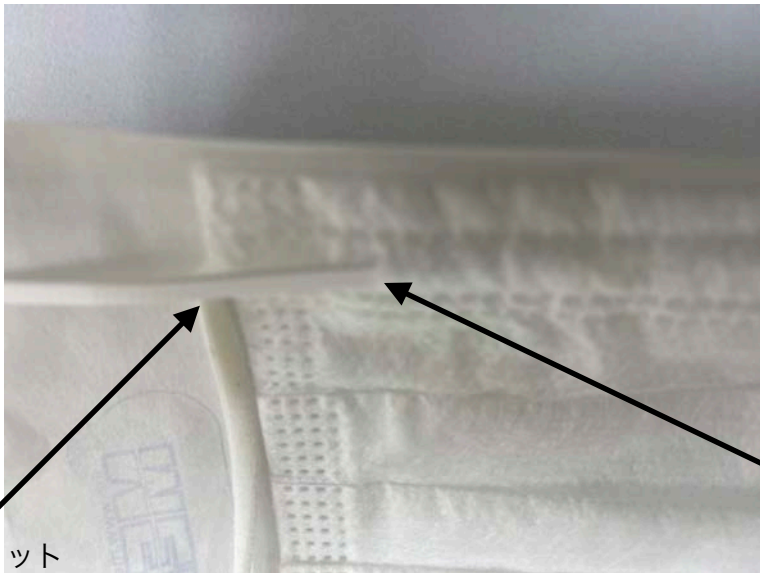
- ・かなり熱いので注意してください。
- ・滅菌パウチの裏に油性マジックで名前を書いておくと個人用として滅菌可能です。



- ⑨滅菌されたマスクに金具（ノーズフィット）の取り付け  
・手指消毒してから行います



滅菌終了後のマスク  
見た目には特に変化ありません



ノーズフィット

切れ込み部位



ノーズフィット入れ終われば再利用可能です

- ⑩手指消毒して再利用開始

## 重要事項

・本来ディスポ製剤であり再利用はメーカーからは認められておらず、マスク不足の現状での他の再利用法（連日使用や水洗い使用など）よりも清潔が確保できる緊急避難的な使用であり、責任はそれぞれの施設で負ってください。

## 注意事項

- ・ノーズフィットを取り出す切れ込みは、マスクを最初に使用するときにしておいた方がいいかもしれません
- ・ノーズフィットを取り出すときに、どうしてもマスクの表側（汚染部位）を両手で触ることになるので、直後に十分手指消毒が重要です。
- ・滅菌パウチはカスト内に平積みは禁止です（オートクレーブの説明書を読んでください）
- ・当院のオートクレーブの設定は121℃で滅菌20分、乾燥30分ですが、コロナウイルスは80℃で10分で死滅するとの研究がありますので、それぞれの時間は各施設で検討して下さい。当院では最近乾燥は15分にしていますが特に問題なさそうです。